

86号

令和6年
7月25日発行

いといがわ



議会だより

目次	Contents
委員会報告等	2～3P
一般質問	4～10P
議案の審議結果	10P
政務活動費実績	11P
次回定例会日程	12P



五月場所千秋楽パブリックビューイング（5月26日 能生生涯学習センター）

第2回定例会を開催 ～6月17日から7月4日まで～

本定例会では、条例関係、予算関係などの議案16件、諮問1件、請願3件、議員発議1件を審議しました。また、13人が一般質問を行いました。本定例会における審議結果は10ページをご覧ください。

議会の動き

4月

- 9日 新潟県議会視察来市
- 23日 北信越市議会議長会定期総会(福井市)
- 25日 建設産業常任委員会

5月

- 7日 市民厚生常任委員会協議会
- 9日 愛知県岡崎市議会視察来市
- 10日 総務文教常任委員会
- 14日 東京都町田市議会視察来市
- 15日 議会運営委員会
- 17日 富山県小矢部市議会視察来市
- 22日 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 23日 石川県議会視察来市
- 29日 新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会定期総会(魚沼市)

6月

- 4日 建設産業常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 17日 本会議(初日)
- 20日 議会運営委員会
- 21日 本会議(一般質問)
- 24日 本会議(一般質問)
- 25日 本会議(一般質問)
- 27日 総務文教常任委員会
- 28日 建設産業常任委員会

7月

- 1日 市民厚生常任委員会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 本会議(最終日)

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

各常任委員会に付託された議案の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

6月27日に条例の制定2件、補正予算1件、請願1件を審査し、「人口減少対策プロジェクトについて」の所管事項調査を行いました。

○駅北子育て支援複合施設整備事業について ＜一般会計補正予算＞

質疑 旧東北電力ビルの解体工事費が、以前に説明のあった概算額から大きな増額となっているが、市民にも説明がつかないのではないかと。また、工事監理業務は委託とするのか。

答弁 概算額は類似施設の解体費を参考に算出したもので、解体工事費が増額となったことは申し訳なく思っている。また、解体工事の監理業務は外部に委託せず、市が直営で行う予定である。

建設産業常任委員会

6月28日に条例の制定1件、その他の議案3件、補正予算1件、請願1件を審査しました。

○権現荘支援事業について ＜一般会計補正予算＞

質疑 柵口温泉権現荘の無償譲渡に際し、譲渡先の一般社団法人アッサン（北海道檜山郡厚沢部町）に事業運営支援金として市が支出する9,000万円は、以前から修繕が必要だった部分にかかる費用という意味なのか。また、これは修繕後に支払うものなのか。

答弁 権現荘東館の冷房は現在稼働しない状態で、配管の修繕や清掃にかかる費用も含まれている。これに加え外壁や屋根の修繕も見込まれている。修繕費の一部として9,000万円を約束するものであり、修繕が確認できた段階で支払うべきものと考えている。

市民厚生常任委員会

7月1日に条例の制定2件、その他の議案1件、補正予算2件、請願1件を審査しました。

○糸魚川市地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 人材確保が困難となっている状況を踏まえ、条例改正により専門職の配置基準が緩和されるが、専門職（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）の確保と処遇改善について伺う。

答弁 今回の条例改正を受け、直ちに担当区域の再編や配置の見直しを行うのではなく、現在勤めていない有資格者を見出すなどして、現在の5か所のセンターすべてで3職種がそろえる形をしたい。介護職や専門職の処遇改善については、保険料の負担が大きくならないよう、国が処遇改善分を別枠で手当するなど要望していきたい。



閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。

総務文教常任委員会

5月10日

- ◎ (仮称) 駅北子育て支援複合施設について
- ◎ 空き家活用事業について

建設産業常任委員会

4月25日

- ◎ 大糸線の利用促進の取組について
- ◎ 能登半島地震関連について

6月4日

- ◎ 柵口温泉 権現荘の譲渡について

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

5月15日

- ◎ 議会運営について

6月10日

- ◎ 第2回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎ 請願・陳情の付託について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 議会運営について

6月20日

- ◎ 議会運営について

7月3日

- ◎ 委員長報告について
- ◎ 議員発議について
- ◎ 閉会中の継続調査の申出について
- ◎ 9月定例会の会期及び日程（予定）について
- ◎ 議会運営について

会派構成の変更

6月11日に清新クラブから会派変更届が提出され、また、6月19日に伊藤麗議員から新しい会派の表記の届出がありました。

変更のあった会派の会派構成は下記のとおりとなります（6月19日現在）。

清新クラブ：宮島 宏、和泉 克彦、松尾 徹郎

糸魚川の未来を魅せる会：伊藤 麗

人事案件

各種委員の選任等について、市長から同意や意見を求められたものに対して、議会で審議し、同意や答申をします。

人権擁護委員候補者の推薦

現委員の任期満了に伴い、次の方が推薦されましたので、適任として認め、答申しました。任期は令和6年10月1日から3年間です。

佐藤 裕 さん（新町・再任）

市内の小学生が

議場の見学に訪れました。

6月11日に田沢小学校の3年生が市役所の庁舎見学に訪れ、議場の見学を行いました。



6月11日 市役所議場



田原 実



議員



問 基幹病院、医師・看護師確保、救急医療、市内分娩への対応など、地域医療体制確保と市の責任について

質問

- (1) 県の地域医療再編において、上越圏域の基幹病院のダウンサイジングが検討されているが、糸魚川総合病院ではどのようなかたちに進むのか。また、上越エリアでの集約化を進める県の役割と責任について、市民への周知をどのように進めるのか。
- (2) 医療人材の確保のため、就学支援、就労支援の利用状況の検証を行ったか。また、若い方たちへの対応について、行政と医療機関で協議を行ったか。
- (3) 医療DX推進の一環として、保健師による出産相談対応にLINEアプリを使うことを以前提案したが、対応状況について何う。

答弁

- (1) 少子高齢化による医療需要の変化などから、一定程度の病院機能・規模の適正化は必要と考えるが、当市にとって必要な医療機能を堅持するとともに、適切な時期に説明会を開催するなど、市民の理解が得られるよう努めていく。
- (2) 市内病院、高校、県などで構成する「医療人材確保対策事業企画推進委員会」において、事業の検証や改善、病院関係者とともに修学支援制度利用者との面談や学校訪問などに取り組んでいる。
- (3) 妊娠・出産・子育てに関するオンラインでの相談アプリについては、市民が利用しやすい内容や機能について現在検討している。

問 震度6以上を想定した地震災害対応、上越・糸魚川沖F41断層による地震・津波避難と市の責任について

質問

上越・糸魚川沖F41断層による地震が発生した場合、津波は数分で押し寄せ、大きな被害をもたらすことが考えられる。市ではどのように想定し、市民に伝え、防災・減災に努めていくのか。

答弁

県が令和元年から4年3月にかけて調査した地震被害想定において公表されており、引き続き、日頃の備えとして周知していく。また、情報伝達については、防災行政無線のほか、緊急速報メールなど、多重化に努めていく。

古畑 浩一



議員



問 「^{まち}減びさすな我が郷土を」消滅可能性自治体対応策について

質問

- (1) 消滅可能性自治体指定をどう捉えているか。
- (2) 人口動態・少子高齢化の分析とこれまでの人口減少対策と新たな事業をどう展開していくのか。

答弁

- (1) 大変厳しい状況であると重く受け止めている。
- (2) 合併した平成17年と令和6年4月現在の人口を比較すると、19年間で12,779人減少し、高齢化率も11.3ポイント上昇している。これまでも人口減少・少子化対策を進めてきたが、若者、特に女性の定着に向けた取組について、改めて進めていく必要があると考えている。

問 権現荘民間移譲について

質問

- (1) 権現荘無償譲渡がなぜ9,000万円を付けての譲渡に話がすり替わったのか。
- (2) 譲渡条件とは何か。
- (3) 権現荘は直営・指定管理・民間譲渡へと変わっていったが、その経緯と運営責任を明確にするべきではないか。

答弁

- (1) あくまでも無償譲渡であり、権現荘の設置目的や機能を引き継ぐための施設修繕相当額として、9,000万円を支払うことで譲渡先の合意を得たものである。
- (2) 10年間の日帰り温泉事業の継続、指定用途以外での使用制限、譲与財産の所有権移転の制限などを条件としている。
- (3) 権現荘は、当初は直営で運営を行い、平成29年度からは指定管理者による運営を行ってきた。近年は利用者の減少や施設の老朽化による修繕等の増加などの影響により、令和5年度からの指定管理者の募集時に応募がなかったため、民間事業者へ譲渡する方向で進めてきた。なお、これらの経過は、その都度議会へ状況を説明してきたところである。

その他の質問項目

○次期市長選への出馬をどう考えているのか。

伊藤 麗



議員



問 民間組織である人口戦略会議が公表した消滅する可能性がある自治体に糸魚川市が含まれたことについて

質問

- (1) 定住促進などについて庁内で話し合いが行われたと思うが、その経過と結果について伺う。
- (2) 当市の課題は多くあると思うが、現在の行財政は健全なのか。自立可能性都市を目指すビジョン・戦略があるのか。医療、高齢者医療、高齢者・障害者福祉、公共交通、観光の産業化、教育施設の適正配置、キャリア教育、防災・減災対策での課題と、これに対する取組はあるか。

答弁

- (1) 令和5年度から、人口減少対策プロジェクトチームにおいて情報収集やデータ分析を進め、事業の新設・拡充を行っている。今後は、これまでの施策に加えて、若者、特に女性の定着に向けた取組を進めていく。
- (2) 限られた財源の中で持続可能な行財政運営に努めているところである。人口減少が進むことで、各分野において様々な影響が出てくるものと捉えており、引き続き人口減少対策を推進していく。

問 子育て支援と子どもからお年寄りまで幅広く関わる教育について

質問

- (1) 産後ケア事業の利用実績及び利用者からの意見聴取の実施状況について伺う。
- (2) 中学校の部活動地域移行に向け、当市における課題は何か。
- (3) 生涯スポーツとして熱心にゲートボールに取り組む市民が、すば一く能生の老朽化による活動停止を危惧しているが、市としての方針を伺う。

答弁

- (1) 令和5年度の訪問型の利用者は53人、通所型の利用者は26人で、宿泊型の利用はなかった。意見聴取については、10か月児健診時に実施するアンケートで意見・感想を聞いている。
- (2) 保護者・生徒への理解促進、練習場所や大会会場への移動手段、指導者や練習場所の確保、保護者の費用負担などが課題として挙げられる。
- (3) すば一く能生の所有・運営管理者である社会福祉協議会に対し、施設が維持できるように修繕費の補助を行っているが、将来的な施設の在り方については、移転先等も含め協議・検討している。

保坂 悟



議員



問 各種支援制度の創設について

質問

- (1) 離婚時の養育費取り決め支援について、弁護士等の費用負担を軽減する制度を創設する考えはないか。
- (2) 認知症の徘徊対策のメニューとして、今年度中にGPS機器の導入をする考えはないか。
- (3) 带状疱疹ワクチンの接種費助成について、県内の自治体でも導入が進んでいるが、市として助成制度を創設する考えはないか。

答弁

- (1) 全国や県内の動向等を調査研究していく。
- (2) GPS機器を含め、本人に合った機器を選択できるよう、今年度中に制度改正を行う予定である。
- (3) 県内の他の市町村で助成が開始されたが、実績等の状況を確認しながら検討していく。

問 インバウンドによる観光振興について

質問

- (1) 国は観光立国を目指しているが、現在、市には、外国人観光客に満足してもらえる観光メニューとしてどのようなものがあるか。
- (2) アニメのコスプレの撮影場所として、フォトスポットを新規開拓する考えはないか。
- (3) 無人駅をショップ、情報発信基地、アート作品にするなど、無人駅活用の考えはないか。

答弁

- (1) 白馬方面から、インバウンド向けに当市の食事を楽しんでもらうシャトルバスを運行している。
- (2) 国のクールジャパン戦略では、アニメは重要なコンテンツとして位置づけられている。当市においても、インバウンドの大きな誘客材料の一つとして、コスプレが映えるスポットについて調査していく。
- (3) 無人駅の利活用について、えちごトキめき鉄道と協議しており、現在、市振駅で出張ジオパルの開設などを行っている。

その他の質問項目

- 子どもたちのキャリア教育について
- 海洋高校を中心としたまちづくりについて
- 持続可能なまちづくりについて
- 糸魚川駅周辺整備について

利根川 正 議員



問 中山間地域の農林業の課題と対策について

質問

- (1) J A えちご上越は、中干し期間を延長して、水田から発生するメタンガスを減らす栽培方法を導入し、生産者の所得を増やす取組を始めた。温室効果ガスの排出枠を企業に販売するJ-クレジット制度を活用したもので、中干し期間を7日間延長すると30%ほどのメタンガス削減ができるというものの、市は当制度をどのように考えているか。
- (2) 令和7年3月末で中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度の期間が終了し、同年4月からまた新たにスタートするが、これを機会に、高齢化や、資材・肥料・燃料等の高騰などを理由に米づくりをやめる農家もある。市は、この現状の把握と対策を考えているか。

答弁

- (1) 米の収量や品質への影響が不明確であり、費用対効果も含め検討していく。
- (2) 地域農業の将来を考える各種の協議の場において課題等を把握し、ニーズに沿った支援に努めていく。

問 高齢者を支え合う、地域共生社会について

質問

- (1) 身寄りのない高齢者が抱える課題は何か。
- (2) 一人暮らしの高齢者のトイレの使用状況をチェックし、家族や支援員に知らせるサービスを導入する考えはないか。
- (3) 今年も猛暑が予想され、熱中症を防ぐためにもエアコンの使用が欠かせないが、電気料金の値上げ等、高齢者には負担が大きい。市として支援できないか。

答弁

- (1) 緊急時の連絡体制や、自身の意思を伝えられなくなったときの支援が課題となっている。
- (2) 高齢者緊急通報装置貸与事業の人感センサーにより安否確認を行っている。
- (3) 現時点で電気料金を支援する予定はないが、高齢者の熱中症予防については、通いの場の活用や見守りネットワークにより、積極的に注意喚起を行っている。

東野 恭行 議員



問 糸魚川市における「人口減対策に直結する施策」について

質問

- (1) 「産業振興」について。市にとって将来の産業発展を見据えた長期ビジョンや、現在も取り組んでいる施策を伺う。
- (2) 「企業支援」について。地域で活躍している企業にとって喜ばれている施策や取組について伺う。
- (3) 「中心市街地活性化」について。都市機能誘導区域への施設設置から、にぎわい創出までの中心市街地活性化のビジョンを伺う。
- (4) 「雇用促進やU・Iターン施策」について。人口減少対策は各市町村の政策だけでは効果が表れにくいと考えるが、地元での雇用やU・Iターンへの動機づけで、市民や企業に協力を求めたいことは何か。
- (5) 「交流人口と関係人口の拡大」について。市が力を入れている観光振興や、道の駅整備計画、糸魚川市海の魅力アップ推進計画等、取組について伺う。
- (6) 地方創生が叫ばれる中、市役所だけに頼らない地域活性化に向けた市民啓発はあるか。

答弁

- (1) 第3次糸魚川市総合計画第3章の産業分野に記載しており、にぎわいと活力のあるまちづくりを推進している。
- (2) 市が実施している支援メニューについては、皆さんから活用されていることから、喜ばれているものと捉えている。
- (3) 若者・子育て世代が快適に暮らせる中心市街地づくりを進めていく。
- (4) 地域への誇りと愛着を伝えていくことであると考えている。
- (5) 今年度は、北陸新幹線敦賀延伸や大阪・関西万博を見据えた、関西方面からの観光誘客と、上越3市による観光連携を更に強化していく。
- (6) 持続可能なまちづくりには、市民や民間事業者の皆さんが自ら考え、行動することが大切であることから、機会を捉えて啓発に努めていく。



田中 立一



議員



問 昨今創設あるいは見直しされた諸制度等について

質問

- (1) 「森林環境税」の徴収見込額と譲与税の使途について伺う。
- (2) 「定額減税」の市民、事業所からの問い合わせと対応について伺う。

答弁

- (1) 徴収見込額については約2,100万円を見込んでおり、森林施業や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する経費」に充てることとしている。
- (2) 市民や事業所への納税通知書の発送と併せて制度を周知するとともに、問合せには丁寧に対応している。

問 災害発生時の対応と避難場所及び避難所について

質問

- (1) 能登半島地震ではペットを同行避難しても避難場所に入らず、車内で状況を見守っていた市民が多く、また、一度避難しても自宅のペットが心配で連れに戻ったという話も聞く。今後の課題として、避難場所及び避難所でペットの同行避難・同伴避難について、飼い主に対しどのように周知し、対応していくか。
- (2) 能登半島地震で高齢者や障害者など、いわゆる要配慮者の方の避難で浮かび上がった課題と今後の対応について伺う。

答弁

- (1) 当市では同行避難を原則としており、今後もホームページへの掲載や狂犬病予防注射の個別案内にチラシを同封するなど、周知に努めていく。
- (2) 地震津波災害においては、短い時間で避難しなければならないことが課題と捉えており、要配慮者に対して、個別避難計画の見直しを働きかけていく。

その他の質問項目

- 農業政策について
- ワーケーションについて

近藤 新二



議員



問 リサイクルポート姫川港と市内産業の今後について

質問

姫川港の主な取扱品目は、輸出・移出ではセメントであり、輸入・移入ではセメント製造等に伴う原料や廃棄物を積極的に受け入れを行い、循環型社会の構築に大きく貢献している。このような状況の中、本年、当市の基幹産業であるセメント事業者が2社から1社に減ることとなったが、姫川港における貨物取扱量及び循環型社会の継続について、市はどのように捉えているか。

答弁

姫川港の貨物取扱量は、その時々を経済情勢や企業活動の動向により変動があるものと捉えている。また、地方港湾唯一のリサイクルポートとして、循環資源や災害廃棄物の取扱いなど、引き続き、循環型社会の実現に貢献するとともに、更なる利用拡大と整備促進に努めていく。

問 糸魚川市内の子供たちの熱中症対策について

質問

- (1) 熱中症の発生件数はどのように推移しているか。
- (2) エアコンの設置状況について伺う。
- (3) 熱中症の発生時の対応について伺う。
- (4) 熱中症対策の課題と問題について伺う。

答弁

- (1) 昨年度、保育園・幼稚園での発生はなかった。小中学校は疑いも含めて35件で、うち受診したものが4件あった。
- (2) 幼稚園、保育園では、公立・私立ともに園内の保育室、遊戯室すべてにエアコンが設置されている。また、小中学校等の設置率は、普通教室は100%、特別教室は63.6%で、全体では77.7%である。
- (3) 水分や塩分の補給、涼しい場所への避難、体温の冷却などを行い、それでもなお意識障害や嘔吐等がある場合は病院に搬送するなど、適切な処置を取っている。
- (4) エアコンの設置費用や、未設置教室等での活動制限などがあるが、暑さを和らげる工夫や日頃から子どもの体調管理に十分留意していくことも重要であると考えている。

新保 峰孝

議員



問 柵口温泉権現荘について

質問

- (1) 地球温暖化によりシャルマン火打スキー場を取り巻く環境も厳しくなっていると思うが、どのように認識しているか。
- (2) 自治体が流行のように宿泊施設を建設した時代があったが、流行はかなり前に終わっている。市として、これまでの経過を踏まえ、権現荘のような市所有の温泉宿泊施設について、どのような考え方で対応していくのか。また、民間等の日帰り温泉施設支援についてはどのように考えているか。

答弁

- (1) 地球温暖化の影響により、全国的にスキー場の営業期間は短くなってきているが、シャルマン火打スキー場は今シーズンも4月下旬まで営業しており、積雪量に関しては問題ないものと考えている。
- (2) 権現荘など温泉宿泊施設については、民間ができることは民間に施設運営を行ってもらおうほうがよいと考えている。また、民間の日帰り温泉施設については、既存の制度内で支援していく。

問 フレイル(虚弱)予防について

質問

- (1) 高齢化が進むにつれ、健康体と要介護の中間層で、フレイル(虚弱)状態にある方たちへの対策(身体運動)が大事になると思うが、どのような取組が行われているか。
- (2) フレイル予防や健康体を維持するための取組は、当市においてどのように行われているか。

答弁

- (1) 通いの場等を活用して健康教育や相談を行う集団指導と、フレイルリスクの高い高齢者に対して支援する個別指導の両面から取組を行っている。
- (2) 健康体の維持には、若い頃からの健康的な生活習慣が大切であり、適切な食生活、運動習慣の定着、疾病予防など、生涯を通じた健康づくりに取り組んでいる。

その他の質問項目

- 駅北子育て支援複合施設について
- 大糸線の活用について

加藤 康太郎

議員



問 「地方創生」(人口減少、東京一極集中へ)の取組と今後の推進方向について

質問

- (1) 上越地域では、糸魚川市と妙高市とが「消滅可能性自治体」に分類され、「自然減対策が必要で、社会減対策が極めて重要」と指摘されている。それぞれの要因に応じた対策を講じていく必要があると考えるが、所見を伺う。
- (2) 令和7年度からの第3期「糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けては、地方創生10年で成果を上げている全国の事例を徹底検証し、「消滅可能性自治体」の分類から外れるための実効性のある大改定を行う必要があると考えるが、所見を伺う。
- (3) 当市で暮らす魅力を伝えるためには、経済的な豊かさだけでなく、心理的・社会的・物理的豊かさや人々の主観的な幸福感や満足度、健康状態などを総合的に評価する「幸福を測定するための物差し」である「地域幸福度」(Well-Being ウェルビーイング)指標が有効と考える。今後の地方創生に向け、活用していく考えはないか。
- (4) テレワークの普及により、多様な働き方やライフスタイルが可能となり、二地域居住(多拠点ライフ)や、一人が複数の仕事を掛け持ちするマルチワークを含めた関係人口を取り込み、今後、地方における人材確保を進める必要があると考える。移住・定住施策の一環に反映する考えはないか。
- (5) 例えば、東京で首都直下型地震やそれに伴う停電などが起こった場合、国を支える中枢機能が一気にストップしてしまうリスクがある。人口減少期における持続可能な社会を実現するための課題解決策として、地域の伝統文化を守ることにもつながる「分散型社会」移行へ向けた取組が必要不可欠と考えるが、市の所見を伺う。

答弁

- (1) これまでも、人口減少・少子化対策を進めてきているが、若者、特に女性の定着に向けた取組について、改めて、推進する必要があると考えている。
- (2) 全国の事例を参考として、実効性のある戦略として見直しを図っていく。
- (3) まちを持続していくため、引き続き市民の幸福度を高める取組を進めていく。
- (4) 新たなライフスタイルや、人材確保の手段として注目している。
- (5) 国主導で進めるべきことと考えているが、地方への分散に向けた取組について、首都圏の自治体との連携の中で進めている。

宮島 宏



議員



問 防災減災対策とその教育普及活動

質問

- (1) 津波からの避難では標高の認識が重要であるが、当地の地形的特徴を理解するために、市街地や各谷の主要な道路、各ジオエリアへの道路に一定の高さごとに海拔を表示する考えはないか。
- (2) 線状降水帯の発達には夜間に多いことが指摘されている。夜間や冬期間の避難訓練を行う考えはないか。
- (3) 地震や津波だけでなく、当市で想定される種々の自然災害を総合的に学ぶ普及講演会や現地見学会を、一般市民や児童生徒向けに市内各所で、シリーズで行う考えはないか。

答弁

- (1) 津波避難誘導看板と合わせ、設置や表示について検討していく。
- (2) 実施の同意が得られた地区を対象として、夜間等の防災訓練を実施していく。
- (3) 国や県も含め、河川氾濫や土砂災害を主に防災教育として、出前講座を行っており、引き続き、取組を行っていく。

問 地域資源の有効活用と維持管理について

質問

- (1) 観光を人数から質で評価する時代が変わりつつある。当市の観光でも、人数から質へのシフトを目指しているか。著名な観光地を持たない当地では、来訪者の数ではなく、滞在時間や満足度を重視し、地域資源の有効活用でより稼ぐことを目指すべきだと思うが、いかがか。
- (2) 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク山岳連盟協議会が発足したが、同協議会に協力をいただき、山頂や登山道のポイントとなる場所にジオパーク的な視点の解説が埋め込まれた二次元コードを設置し、山という地域資源を有効活用することはできないか。

答弁

- (1) 糸魚川市観光協会がDMO法人として、稼ぐ観光を目指しており、満足度等、質の重視も必要であると考えている。今年度から、接客や多言語対応のプロガイドの育成を開始し、リピーターの確保や満足度向上を図っていく。
- (2) 山の魅力の発信について、協議会と引き続き検討していく。

渡辺 栄一



議員



問 大糸線振興策について

質問

- (1) 大糸線利用促進を目的とした白馬駅までのバスの運行について、白馬から糸魚川に来てくれる乗客もターゲットにすべきと考えるが、具体的な誘致策を企画しているか。
- (2) 将来的には、白馬や信濃大町への直通運転の実現を視野に働きかけるべきだが、市の考えはどうか。
- (3) バス運行の成果が伴わなければ、いよいよ廃線が時間表に上げられてしまう恐れもある。この動きを漫然と見守るのではなく、しっかりJRの動きに応えた対策をとってほしいが、市の決意を伺う。

答弁

- (1) 海産物など糸魚川市の魅力をPRするとともに、着地型旅行商品の造成も検討していく。
- (2) 大糸線全線の区間において、まずは利用者の増加に向けた取組を行うことが重要であると考えている。
- (3) 本年度、北陸新幹線の敦賀延伸を契機とした大糸線沿線エリアへの誘客に向けて、本格的な利用促進・利便性向上に向けた取組を、事業者や沿線自治体などが一体となって進めている。

問 日帰り入浴施設「柵口温泉権現荘」の民間譲渡について

質問

- (1) 市直営でも黒字になった年があり、その経営状態を分析し、今後の方針を決めるべきではないか。
- (2) 市の事業においても税収や国の補助金に頼りきらず、黒字を獲得し、他の赤字部門を助ける努力が必要で、「赤字やむなし」から黒字を目指す発想の転換が求められていると思うが、市の考えを伺う。

答弁

- (1) 市が権現荘を運営していくことが困難なため、民間事業者の創意工夫を最大限に活かし、権現荘を活用した地域活性化を図るため、民間譲渡を進めている。
- (2) 市が行う事業は、住民の福祉の増進を図ることを目的に実施しており、最小の経費で最大限の効果を発揮できるよう進めている。

その他の質問項目

- 「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク山岳連盟協議会」発足について

田原 洋子 議員



問 申請書の簡素化について

質問

- (1) 前年度と申請内容が同じものは、既に記入済の申請書とするか、または「前年度と変更なし」というチェック項目で済むような様式にすることはできないか。
- (2) マイナンバーの活用や庁舎内の情報共有を行い、窓口に来た際に、ほかに対象となる申請がないかを確認するシステムはできないか。
- (3) 申請書の発送を一つにまとめて、発送の経費を削減し、申請が一度で済むような取組はできないか。

答弁

- (1) 対象者数の多い高齢者向けの事業を中心に順次、申請書への事前印刷や申請書等の様式変更などを行っており、今後も申請時の負担軽減に努めていく。
- (2) 「書かない窓口」や「ワンストップ化」等の窓口改革を進めており、出生・死亡、転入・転出の際は、手続に漏れがないよう対応していく。
- (3) 手続の時期が同じものについては、まとめて発送するよう取り組んでいる。

問 塩の道について

質問

- (1) 塩の道を歩くイベントをもっとPRして観光につなげる考えはないか。また、長野県小谷村から根知地内の山口まで歩くイベント「秋の塩の道を歩く」の再開の予定はないか。
- (2) 塩の道西回りの見どころ、歴史をまとめてホームページなどで公開する必要はないか。

答弁

- (1) 塩の道のイベントは市民団体が主催しているところであり、市としては、塩の道の保護保全に努めるとともに、民間も含め活用方法について調査研究していく。
- (2) 塩の道全体の情報を発信できるよう、内容等について検討していく。

その他の質問項目

- 特定地域づくり事業協同組合制度と公式単発求人サイトについて
- 防犯、詐欺被害防止の取組について

議案の審議結果

— 第2回定例会（6月17日～7月4日） —

番号等	件 名	結 果
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて（糸魚川市市税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて（糸魚川市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて（糸魚川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第47号	専決処分の承認を求めることについて（糸魚川市介護保険条例の一部を改正する条例）	承認
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度糸魚川市一般会計補正予算（第11号））	承認
議案第49号	糸魚川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第50号	糸魚川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第51号	糸魚川市温泉施設権現荘条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第52号	財産の譲与について（柵口温泉権現荘）	可決
議案第53号	財産の取得について（ロータリ除雪車（11t級 マルチプラウ付））	可決
議案第54号	契約の締結について（まがたま跨線橋補修工事委託）	可決
議案第55号	糸魚川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第56号	糸魚川市地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第57号	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決
議案第58号	令和6年度糸魚川市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第59号	令和6年度糸魚川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め 答申
請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	みなし 採択
請願第3号	「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	不採択
請願第4号	健康保険証の存続を求める意見書の採択を求める請願	不採択
発議第5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	可決

令和5年度 政務活動費実績

政務活動費とは… 地方自治法及び条例に基づき、議員の調査研究その他の活動のために必要な経費の一部として、会派又は議員に、議員1人につき月額 15,300 円（年額 183,600 円）が交付されています。下記の表で、公費支出限度額より実績報告額が少ない場合は差額分を返納し、公費支出限度額より実績報告額が多い場合は差額分を会派・議員で負担しています。

会派・議員名 (○は会派代表者)	公費支出限度額 〔実績報告額〕 (円)	内 容	
		項 目	金額(円)
みらい創造クラブ ○利根川 正 東野 恭行 横山 人美 阿部 裕和 加藤康太郎	918,000 〔863,948〕	・ 調査研究費（行政視察旅費） 10/31 北海道北見市「書かないワンストップ窓口（ワンストップサービス推進事業）の導入の経緯と運用について」 11/1 こども家庭庁「こども大綱（こども施策）について」 ・ 広報費（議会広報発行1回） ・ 資料購入費（書籍購入）	438,400 416,132 9,416
清 新 ク ラ ブ ○宮島 宏 和泉 克彦 松尾 徹郎 伊藤 麗	734,400 〔592,970〕	・ 調査研究費（行政視察旅費） 5/11 新潟市「子育て支援施設とその運営について」 10/17 第28回清溪セミナー 東京都新宿区(2日間) 10/24 京都府宮津市「京都丹後鉄道の観光と行政支援について」 10/25 京都府京丹後市「DMO及びふるさと納税電子通貨について」 2/14 糸魚川市における台湾との友好関係締結に向けた取組推進 東京都千代田区、港区 ・ 広報費（議会広報発行1回） ・ 資料購入費（書籍購入）	265,688 297,432 29,850
創 生 ク ラ ブ ○中村 実 近藤 新二	367,200 〔414,124〕	・ 調査研究費（行政視察旅費） ※視察内容は清新クラブの10/24、10/25と同じ。 ・ 広報費（議会広報発行1回）	94,288 319,836
新保 峰孝	183,600 〔184,303〕	・ 調査研究費（行政視察旅費） 10/23 岡山県西栗倉村「百年の森林構想について」 10/24 岡山県真庭市「デジタル地域通貨まにこいんについて」 岡山県奈義町「少子化対策について」 10/25 岡山県総社市「ひきこもり支援事業について」 ・ 広報費（議会広報発行2回）	67,687 116,616
田原 洋子	183,600 〔304,075〕	・ 調査研究費（行政視察旅費） ※視察内容は新保議員と同じ。 ・ 広報費（議会広報発行1回） ・ 資料購入費（書籍購入）	67,688 233,967 2,420
渡辺 栄一	183,600 〔183,600〕	・ 広報費（議会広報発行4回）	183,600
保坂 悟	183,600 〔154,696〕	・ 広報費（議会広報発行1回）	154,696
田中 立一	183,600 〔78,005〕	・ 調査研究費（行政視察旅費） ※視察内容は新保議員と同じ。 ・ 要請及び陳情活動費	73,045 4,960
古畑 浩一	183,600 〔222,705〕	・ 広報費（議会広報発行2回）	222,705
田原 実	183,600 〔208,726〕	・ 調査研究費（行政視察費等） 11/2 長野県中野市「カチューシャの唄」知音都市交流実務者・広報担当者会議 ・ 広報費（議会広報発行2回） ・ 資料作成費（事務消耗品）	13,320 179,654 15,752

議員表彰

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績により表彰されました。なお、保坂悟議員も在職20年以上の議員として表彰の対象でしたが、辞退されています。

在職20年以上議員表彰



中村 実 議員



田原 実 議員



田中 立一 議員

在職15年以上議員表彰

議会を傍聴
しませんか？

9月

市議会定例会の会期及び日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2 本会議 初日	3	4	5 議会運営 委員会	6 本会議 一般質問	7
8	9	10	11	12 建設産業 常任委員会	13 市民厚生 常任委員会	14
15	16	17 総務文教 常任委員会	18	19 決算審査特別委員会	20	21
22	23	24 決算審査 特別委員会 (予備日)	25	26 議会運営 委員会	27 本会議 最終日	28

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議(議場)の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。

※9月定例会で議題とする請願・陳情は、8月23日(金)までに提出されたものになります。
詳しくはお問合せください。

インターネットで市議会の様子を配信しています。

市議会の生中継映像(本会議)と録画映像(本会議・予算審査特別委員会)を配信しています。

←スマートフォンかタブレットで読み取ってください。



生中継配信



録画中継配信

